

担当教員からのメッセージ

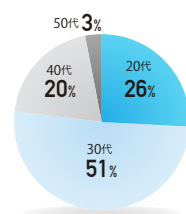
地域包括ケアシステムの構築が求められています。受講生が、各地域で、生活モデルに基づく包括的ケアシステムの構築に寄与できる療法士となることを期待しています。

患者や利用者、その家族を支援する医療従事者として、時代の要請に応じた広い知識とネットワークを手にすることは、専門職としての新たなステージへの一歩です。その一歩を私たちと一緒に始めてみませんか。

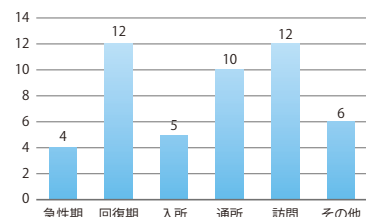
本学の授業支援システムを使用してeラーニング・コンテンツを配信しています。また受講生の高い向学意欲に応えるために学術情報システムの使用を可能とし、より深い学習ができるよう配慮しています。

受講生(第6期生)アンケートより

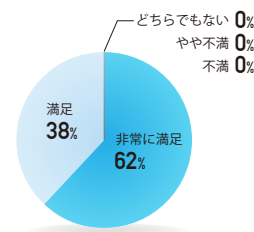
受講生年代



受講生の業務内容(複数回答)



受講の満足度



大阪府立大学大学院 総合リハビリテーション学研究科 履修証明プログラム

地域リハビリテーション学コース



【お問い合わせ先】

〒583-8555 大阪府羽曳野市はびきの3丁目7番30号
大阪府立大学大学院 総合リハビリテーション学研究科内
「地域リハビリテーション学コース」事務局
電話: 072-950-2111 (大学代表)
core-pro@ao.osakafu-u.ac.jp
掲載している情報は2020年4月1日現在のものです。



大阪府立大学大学院 総合リハビリテーション学研究科

地域リハビリテーション学コース

コース
概要

地域包括ケアシステムの構築に向けて在宅医療・介護が推進される中、理学療法士・作業療法士には、医療と介護の連携促進やネットワークの構築ができることが期待されています。本コースでは、従来の教育課程の内容をより充実させるため、公衆衛生的な思考・知識の修得や、在宅リハビリテーション技術・知識の補完を目指し、在宅ケアで求められる高い実践能力と指導能力を有する理学療法士・作業療法士を育成します。

コースの大半はeラーニングで受講することができ、ライフスタイルに合わせてご自身のペースで学習することができます。

コース
紹介

対象 理学療法士・作業療法士

受講期間 1年間(10月から次年度9月まで)

履修時間 120時間以上
(全体の約9割はeラーニング、スクーリングは3日間に分けて開催)
*eラーニング:主にインターネットを利用した学習形態
*スクーリング:講師と対面して講義を受ける授業形態

募集開始時期 毎年6月頃

定員 30名

受講料 160,000円(半期毎に80,000円ずつ分納)
*受講に関する詳細はHPをご覧ください

講座紹介
(全8講座)

公衆衛生的な思考・知識の修得

医療・保健・福祉をめぐる社会動向

在宅医療におけるICT活用の倫理

コミュニケーションと組織マネジメント

社会資源の活用

在宅リハビリテーション技術・知識の補完

在宅医療・人生の最終段階における医療

訪問リハにおけるリスクマネジメント

在宅ケアにおける予後予測

生活期の疾病理解



在宅ケアで活躍できる理学療法士・作業療法士の育成をめざして

受講生の声



藤野 浩 さん

地域で働いて6年目ですが、病院と地域では180°違った視点が必要であり、病院だけでは学べないことがあります。本コースでは、地域で活躍される先輩方の生の声を聞くことができ、社会動向から在宅ケアの詳細まで幅広く学ぶことができます。地域に興味はあるものの一歩が踏み出せないセラピストに対して、地域に出る「心構え」を後押ししてくれます。

メディケア・リハビリ訪問看護ステーション:作業療法士



太田 幸子 さん

近年、高齢の患者様や発症前より在宅サービスを利用されている患者様、急性期病院からご自宅へ退院される患者様が増加しており、在宅ケアについて理解を深めたいと考え受講しました。在宅ケアの実際をイメージできる講義内容で非常に興味深く、急性期病院に求められている役割について考える機会となりました。

国立循環器病研究センター:理学療法士



丸山 梨恵 さん

産休・育休中は、外出するのは難しいけれど、在宅であれば子育ての合間に時間があると思い、本コースを受講しました。産休・育休前も現在も介護老人保健施設で働いているので地域リハについての知識が無いわけではないですが、講義で学んだ終末期ケアが復帰後すぐに役に立つなど知識の補填とスムーズな職場復帰に繋がりました。

介護老人保健施設 ヴァンサンク:作業療法士



安井 学 さん

日常業務で多忙な状況においては、時間の合間を縫って視聴できるシステムは非常に有効だと思います。本コースを受講することによって、座学による知識と現場の空気感の両方を学ぶことができます。受講翌日に在宅ケア現場で試行することにより学習深度が増し、相乗効果を生み出すように感じています。職員にも積極的に受講を呼び掛けています。

訪問看護ステーションおみち:理学療法士

卒前から
継続した
生涯教育

本学では、医療・在宅ケアにおける学士課程・生涯教育の体系的な教育システムを構築しました。さらに本コースは、キャリア教育との連携を強化[※]し、地域包括ケアシステムにおいて求められる高い実践能力と指導能力を有する理学療法士・作業療法士の育成・輩出を目指しています。

※ 日本理学療法士協会ならびに日本作業療法士協会による生涯教育制度との接続性を担保しています。

医療・在宅ケアで
活躍できる人材

生涯教育

地域リハビリテーション学コース

医療と在宅ケアの連携体制づくりを支援する俯瞰的思考と高度な指導能力を培う

学士課程

在宅ケアにおけるリハビリ専門職の役割理解と基礎的な実践能力を兼ね備える

履修証明プログラム

履修証明制度とは、大学等において、社会人等を対象とした一定のまとまりのある学習プログラム(履修証明プログラム)を開設し、その修了者に対して法に基づく履修証明書を交付できるとした制度で、平成19年度の学校教育法改正により文部科学省によって創設されました。本コース修了者には、大学より履修証明書が交付されます。